

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 山口 博

山名	明神平		山行名	例会		
ルート	新田辺一大又一林道P-登山口-明神滝-(往復)					
山行日	2月16日(日)		天候	晴れ		
参加者	CL 山口 SL 佐坂 男子 北村 中島 中田 中廣 女子 大谷 岡本 徳田 山田 合計 10名					
	コースタイム					
	地名		時:分	地名		時:分
	新田辺	発	6:30	登山口	着	14:10
	大又P	着	9:15	大又P	着	15:20
	〃	発	9:30	大又P	発	15:30
	登山口	着	11:30	新田辺	着	18:00
	登山道(昼食)	着	12:20			
	〃	発	12:50			
	明神滝	着	13:10			
	〃	発	13:20			

山行報告

明神平に初めて登ったのは山友会に入って間もない15年位前で、その後テント泊も何度も経験して、冬の明神平の樹氷の美しさに魅せられてからは毎年登っていますが、大又から雪が積もって車が入らなかったのは今回初めてです。

今年は全国各地で何十年振りかの記録的な大雪の報道が出ていますが、関西ではあまり降らず、1月29日の蛇谷が峰も登山口は30cm位で頂上でも1m位で例年の半分でした。

2月5日の三峰山も前夜少し降っただけで殆ど積もって無くて、当日からの寒波でやっと樹氷を見る事が出来ました。

14日から全国的に大雪で我が家でも珍しく少し積もったので明神平はかなり有るだろうと思いつきも持参しました。

大又の手前で登山者らしき3台の対向車に出会い、車が通れなくて帰ってきたのか嫌な予感がある。家に前の雪かきをしているおじさんに聞くと、「5台位が入っているがとても林道には車は入れない」との事。やはり大又を過ぎて少し行くと林道の横の空き地に4台の車が停まって居る。滋賀県から来た10人位のメンバーがスノーシューを履いて準備をしている。

私達も隣に車を止めてアイゼンを装着して出発する。今からだと目的地の国見岳までは無理であろうが、この時にはまさか明神平までも行けないとは思わなかった。進むに連れて林道は雪が多くなり駐車場付近では50cm位の積雪であった。歩き始めてから此処まで既に1時間以上が経過している登山口は未だ先だ。この分では明神平までも行けないかもとそんな予感がした。歩きだしてから2時間でやっと登山口に到着しました。

9時30分に歩き始めて2時間も掛かっている。登山届を箱に入れて出発しました。

登山道は踏み後を探して歩を運ぶが、チョット足を踏み外すとズボット膝まで入ってしまうので足を抜くのも大変で、バランスを崩して転んでしまうので慎重に歩きました。

一時間歩いて登山道の横で昼食にする。天気は朝曇っていたが、予報通り青空が樹氷の間から覗けて、風もなく暖かい日差しの中での食事です。食事の後明神滝までを目指して出発しました。

川を2度渡るのですがロープが張っていて水嵩も無くて無事に渡る事が出来ました。

明神滝までは何とか登れましたが此処からは踏み後も消えてラッセルでの登りは諦めて此処で引き返しました。下山は比較的楽に歩いて駐車地には2時間で戻れました。

明神平からの樹氷が見る事が出来なかったのは残念でしたが、雪歩きを堪能しました。

ヒヤリハット ありません

明神平 感想文



岡本 綾子

写真展によく出展されている樹氷の美しさに魅かれ、いつか行きたいと思っていた明神平山行に初めて参加しました。前々日の雪の影響で、現地が近づくにつれて、積雪の多さにどこまで行ける？と少々不安顔。四駆のスタッドレスタイヤが滑る事態まで。もう引き返すべきかと考えた始めた矢先、やっと到着。いつもの駐車場所からは、かなり遠いようです。ワカンかアイゼンか？隣に駐車された登山者がスノーシューで出発されました。私達は、アイゼンを付けて出発です。6本爪しか持っていないので安定感に

欠けますが、それでも滑らない安心感があります。雪がなければ舗装道路と思われる道をひたすら歩きます。先行者のスノーシューのお陰で、道が出来て歩きやすくなっていました。しかし一歩でもずれるとズボツと足が埋もれます。ストックを差して積雪の深さを測り、すごいねと顔を見合わせます。雪は多いですが良い天気の中、一面の銀世界に樹氷の美しさを見ているとテンションが上がります。雪を見て喜ぶのは、子供だけではないようです。2時間程歩くとやっと登山口に到着です。今日は、行ける所までで折り返します。と CL から指示がありました。やはり雪に足を取られ時間がかかります。途中、何度か川を渡りましたが、雪道やアイゼンに慣れていない私はモタモタ気味；それに比べて大先輩のさっそうとした渡渉にお～さすがと感心しきり。12時半頃お昼休憩を取り、もう少し滝の所まで行きましょうという事になりました。しばらく雪道と格闘していると、人が集まっている場所に辿り着きました。この上から滝が見えますと言われ上がって行くと途中で道がなくなり、ラッセルをしないとイケません。進むのをあきらめ、写真を撮り引き返しました。途中、雪にすっぽりはまり身動きがとれませんが、ズズズと滑り、下におられた N さんに足を引っ張ってもらいましたが、そっちに引っ張るの～ともう少し女性には、優しくお願いします？いえいえ助けて頂いてありがとうございます。では、ここで折り返しましょうとピストンで戻りました。去年は、明神平から国見山まで行けたという事なので、今年の積雪の多さが尋常ではないようです。また、来年リベンジしたいと思います。山口 CL、安全運転をして頂いた佐坂 SL、北村さん、ありがとうございました。

